

報道関係各位

2020年12月3日

アストラゼネカ株式会社

アストラゼネカ 業績発表のお知らせ

11月5日にアストラゼネカ英国本社が発表しました、2020年9カ月累計・第3四半期業績発表プレスリリースのハイライトの日本語訳をお送りします。

この資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。

記

AstraZeneca PLC
2020年第3四半期業績
(別添 27 ページ)

以上

お問い合わせ先

アストラゼネカ株式会社
東京都千代田区丸の内 1-8-3 丸の内トラストタワー本館
コーポレートアフェアーズ統括部 白井/東
JPN.Ex.Comm@astrazeneca.com
Tel: 070-2272-8112 / 080-6198-5314 / 03-6268-2800

AstraZeneca PLC 2020 年 9 カ月累計・第 3 四半期業績

通年ガイダンス達成に向けて順調に前進:「イノベーションによる持続可能な成長」戦略を遂行中

9 カ月累計で、アストラゼネカは「イノベーションによる持続可能な成長」という戦略のもと、売上、利益および現金の増大を達成しました。総収益は期待通りであり、業績は引き続き向上しました。第 3 四半期の利益成長は、第 4 四半期に向けて加重された提携収入、その他営業収入、および経費を反映しています。そのため、通年ガイダンスに変更はありません。

最高経営責任者 (CEO) パスカル・ソリオの業績に関するコメント :

「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) パンデミックによる混乱が継続する中においても、本四半期、当社は有望な進捗を果たしました。売上業績のハイライトとして、オンコロジー領域におけるさらなる成功およびフォシーガの成長加速が挙げられます。当社のパイプラインでも、ループス (全身性エリテマトーデス) 治療薬としての anifrolumab の薬事承認申請が受理され、フォシーガが慢性腎臓病に関する画期的な新規データをもって糖尿病および心不全以外の疾患にその可能性を拡大するなど、優れた結果を達成しました。

COVID-19 との闘いにおいては、オックスフォード大学と共に、ワクチンに関する協力を推進すると同時に、迅速な防御を必要とする、あるいは免疫系が脆弱なためワクチンの恩恵を受け難い人々を対象に、COVID-19 の予防および治療を目的とする長時間作用性抗体薬の併用療法の第Ⅲ相試験を開始しつつあります。

当社は引き続き期待に沿って前進し、イノベーションによる持続可能な成長という戦略に裏付けられた通年ガイダンスを保持します」。

Table 1 : 財務サマリー

	2020 年 9 カ月累計			2020 年第 3 四半期		
	100 万ドル	増減 (%) 実質 CER ¹		100 万ドル	増減 (%) 実質 CER	
総売上高	19,207	8	10	6,578	3	3
製品売上	18,879	9	11	6,520	6	7
提携収入	328	(19)	(18)	58	(79)	(78)
報告ベース ² 1 株当たり利益 (EPS) ³	\$1.66	n/m ⁴	n/m	\$0.49	n/m	n/m
中核 ⁵ EPS	\$2.95	13	16	\$0.94	(4)	-

9 カ月累計の総売上高のハイライトとして下記が挙げられます：

- 製品売上は 9%増（CER ベースでは 11%増）の 188 億 7,900 万ドル。新薬⁶は 34%増（CER ベースでは 36%増）の 98 億 9,400 万ドルで、これは、61%増（CER ベースでは 68%増）となった新興市場での新薬の売上 21 億 8,900 万ドルを含みます。新薬は全世界の総売上高の 52%を占めました（2019 年 9 カ月累計では 42%）。第 3 四半期の提携収入の減少は主にリムパーザに関して 2019 年第 3 四半期に受領したマイルストーン収入との比較効果を反映しています。
- オンコロジー領域の売上は 23%増（CER ベースでは 24%増）の 81 億 8,500 万ドル、New CVRM 領域⁷は 7%増（CER ベースでは 10%増）の 34 億 5,000 万ドルでした。呼吸器・免疫領域は 1%減（CER ベースでは 1%増）の 38 億 4,100 万ドルで、中国でパルミコートが難題に直面していることを受け、第 3 四半期の売上は 12%減の 11 億 6,500 万ドルでした。
- 新興市場の総売上高は 6%増（CER ベースでは 11%増）の 64 億 6,600 万ドル、うち中国の総売上高は 9%伸長（CER ベースでは 11%増）し 40 億 1,300 万ドル。後者には、パルミコートの売上減少による 14 ポイントのマイナス影響が含まれます。第 3 四半期、中国の総売上高は 6%増の 13 億 5,400 万ドルでした。
- 9 カ月累計で、米国の総売上高は 12%増の 64 億 4,500 万ドル、ヨーロッパの総売上高は 6%増（CER ベースでは 7%増）の 37 億 900 万ドル。本四半期、ヨーロッパの製品売上は 10%増（CER ベースでは 8%増）の 12 億 5,900 万ドルでしたが、総売上高は、ヨーロッパ地域において認識され計上される上記リムパーザの提携収入の受領額の減少を反映し、9%減（CER ベースでは 11%減）の 12 億 6,200 万ドルでした。

ガイダンス

当社は 2020 年度のガイダンスを下記に示し CER ベースで提供します：

2020 年度の財務ガイダンスに変更はありません。総売上高は 1 桁台後半から 2 桁台前半のパーセンテージで増加することが予想され、中核 EPS は 10%台半ばから後半程度増加することが予想されます。

アストラゼネカは本発表文において後述される COVID-19⁸ の影響によるリスクおよび不確実性の増大を想定しています。四半期毎の業績変動は継続すると予想されます。

当社は買収関連債務により生じる公正価格調整、無形資産減損費用および訴訟和解引当金を含む報告ベースの結果の重要な要素を正確に予測することはできませんので、報告ベースのガイダンスならびに指標を提供することはできません。英語原文発表文書の末尾にある「将来予想に関する記述についての注意事項」をご参照ください。

指標

当社は 2020 年度の指標を CER ベースで提供します。

- 当社は営業レバレッジの改善に注力しています。
- 中核税率は 18~22%。四半期ごとの中核税率の変動は継続すると予想されます。
- 資本支出は対前年度比概ね安定すると予想されます。

為替の影響

外国為替レートが 2020 年 10 月から 12 月までの期間、本 9 カ月累計の平均為替レートの水準にあれば、総売上高および中核 EPS に対して 1 桁台前半のマイナス影響が予想されます。当社の外国為替レート感度分析は英語原文発表にある営業・ファイナンシャルレビューの項に含まれています。

財務サマリー

- 製品売上と提携収入により構成される総売上高は 9 カ月累計で 8%増（CER ベースでは 10%増）の 192 億 700 万ドル。製品売上は、主に 3 つの治療領域にわたる新薬の業績および新興市場の業績によりけん引され、9%増（CER ベースでは 11%増）の 188 億 7,900 万ドル。
- 報告ベースおよび中核総利益率⁹は、それぞれ 80%および 81%で安定していました。第 3 四半期中核売上総利益率 79%も対前年度比で変動はありませんでした。
- 9 カ月累計の報告ベース中核総営業費用は 2%減（CER ベースでは 1%減）の 126 億 4,600 万ドルで、総売上高の 66%を占めました（2019 年 9 カ月累計では 73%）。中核総営業費用は 4%増（CER ベースでは 5%増）の 109 億 7,900 万ドルで、総売上高の 57%を占めました（2019 年 9 カ月累計では 59%）。
- 報告ベース研究開発費は 9 カ月累計で 8%増の 42 億 7,200 万ドル；中核研究開発費は 9%増の 41 億 6,500 万ドル。この増加は、datopotomab deruxtecan（DS-1062）の開発を含むパイプラインへの投資、および 2019 年に終了した MSD¹⁰ との提携の一環として支払われていたリムパーザの開発に関する契約一時金の解除を一部反映しています。

- 9 カ月累計の報告ベースの販売費及び一般管理費は 7%減 (CER ベースでは 5%減) の 80 億 8,400 万ドル; 中核販費及び一般管理費は 1%増 (CER ベースでは 3%増) の 65 億 2,400 万ドル。この変動の違いは買収関連債務により生じる公正価格調整、および 2019 年に認識された法的準備金の増加を一部反映していますが、これらは 9 カ月累計で計上された新たな無形資産減損費用により相殺されました。
- 9 カ月累計の報告ベースその他収入及び経費は 15%減 (CER ベースでは 14%減) の 8 億 8,800 万ドル。中核その他収入および経費は 9 カ月累計では 16%減 (CER ベースでは 15%減) の 8 億 8,900 万ドル、第 3 四半期では 19%減 (CER ベースでは 20%減) の 2 億 8,500 万ドル。
- 9 カ月累計での報告ベース営業利益率は 6 ポイント増の 19%; 中核営業利益率は 1 ポイント増の 28%。
- 9 カ月累計で報告ベース EPS は 111%増 (CER ベースでは 113%増) の 1.66 ドル。中核 EPS は 13%増 (CER ベースでは 16%増) の 2.95 ドル。
- 9 カ月累計の営業活動による正味キャッシュインフローは 30 億 100 万ドル。これは対前年度比 14 億 700 万ドルの増加ですが、報告ベース営業利益が 13 億 2,800 万ドル改善し 36 億 7,500 万ドルとなり、運転資金と短期準備金良好な変動を示したことを反映しています。

営業サマリー

オンコロジー領域

9 カ月累計の総売上高は 23%増加 (CER ベースでは 24%増) し、81 億 8,500 万ドルを達成。

Table 2 : オンコロジー領域製品の売上 (抜粋)

	2020 年 9 カ月累計			2020 年第 3 四半期		
	100 万ドル	増減 (%)		100 万ドル	増減 (%)	
		実質	CER		実質	CER
タグリツソ: 製品売上	3,171	38	39	1,155	30	30
イミフィンジ: 製品売上	1,487	42	43	533	29	29
リムパーザ: 製品売上	1,280	51	53	464	42	42
リムパーザ: 提携収入	135	(48)	(48)	-	n/m	n/m
Calquence: 製品売上	340	n/m	n/m	145	n/m	n/m
Enhertu: 提携収入	63	n/m	n/m	27	n/m	n/m

New CVRM 領域

9 カ月累計の総売上高は 7%増加（CER ベースでは 10%増）し、34 億 5,000 万ドルを達成。

Table 3 : New CVRM 領域製品の売上（抜粋）

	2020 年 9 カ月累計			2020 年第 3 四半期		
	100 万ドル	増減 (%)		100 万ドル	増減 (%)	
		実質	CER		実質	CER
フォシーガ：製品売上	1,373	22	26	525	32	35
ブリリンタ：製品売上	1,230	7	9	385	(7)	(7)
ビデュリオン：製品売上	326	(21)	(20)	110	(14)	(14)
ロケルマ：製品売上	48	n/m	n/m	21	n/m	n/m
roxadustat：提携収入	19	n/m	n/m	8	n/m	n/m

呼吸器・免疫領域

9 カ月累計の総売上高は 1%減少（CER ベースでは 1%増）し、38 億 4,100 万ドルを達成。パルミコートの売上減少による影響幅は総売上高成長の 15 ポイント相当でした。

Table 4 : 呼吸器・免疫領域製品の売上（抜粋）

	2020 年 9 カ月累計			2020 年第 3 四半期		
	100 万ドル	増減 (%)		100 万ドル	増減 (%)	
		実質	CER		実質	CER
シムビコート：製品売上	2,042	15	16	599	(2)	(2)
ファセンラ：製品売上	666	34	34	240	19	18
パルミコート：製品売上	628	(40)	(39)	151	(55)	(55)

9 カ月累計で、中国での売上が大部分を占めるパルミコートの売上は、COVID-19 によるマイナス影響を受けました。新興市場におけるパルミコートの売上は、9 カ月累計では 43%減（CER ベースでは 42%減）の 4 億 7,900 万ドル、第 3 四半期では 60%減（CER ベースでは 59%減）の 1 億 900 万ドル。

新興市場

新興市場での下記を含む 9 カ月累計の総売上高は、6%増（CER ベースでは 11%増）の 64 億 6,600 万ドルでした。

- 中国は 9%増（CER ベースでは 11%増）の 40 億 1,300 万ドル。本業績は、前述の COVID-19 によるパルミコートへのマイナス悪影響を反映しています。第 3 四半期の総売上高は 6%増の 13 億 5,400 万ドル。
- 中国以外は、3%増（CER ベースでは 10%増）の 24 億 5,300 万ドル、第 3 四半期の総売上高は、一部過去の売却の影響により、7%減（CER ベースでは 2%増）の 7 億 8,300 万ドル。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）

当社は下記を含む、現行のパンデミックによる数多くの課題に対処しています。

- 患者さんのスクリーニング検査、診断、検査および選別手順の低下
- 現場の営業部隊と医療従事者の間で行われる対面コミュニケーションの低下
- 施設の清掃、個人用保護具および社員の検査等の COVID-19 に関連する追加コストや手順。アストラゼネカは社員およびサプライヤーに対し、安全な労働環境を提供することに専念しています。
- 流通経費の増加
- 主に早期段階における一部臨床試験の開始、実施中の患者登録および追跡への影響。パンデミックの結果、さらなる遅延が生じることを想定するのが賢明と考えます。

世界的な回復には遅延が見られますが、アストラゼネカはこれらの課題へ対処できる状況にあります。未曾有の危機は、より効率的な働き方を探求するための複数の機会をもたらし、それにより患者さんや当社に長期的な恩恵をもたらす可能性があります。

加えて、社会や個人を COVID-19 から防御し、重症患者さんを治療するため、SARS-CoV-2 ウイルスを標的とする研究活動を始動しました。遺伝子組み換えアデノウイルスワクチン候補である AZD1222 の後期臨床試験が英国、ブラジル、南アフリカおよび米国を含む多くの国々で実施中です。欧州医薬品庁（EMA）は、2020 年 10 月、同庁のヒト用医薬品委員会（CHMP）が、AZD1222 のデータの逐次審査を開始したことを発表しました。同剤は、この審査方法で審査される初の COVID-19 ワクチンとなります。

同月、当社は、AZD7442 の感染症予防における安全性と有効性を評価する 2 つの第Ⅲ相臨床試験を開始し、COVID-19 の治療薬としても複数の試験を計画しています。

当社の広範な COVID-19 に関する研究開発プログラムの詳細は、本発表文の研究開発の項に記載されています。また、アストラゼネカのワクチン候補および政府や他の機関との協力については、本発表文のサステナビリティ（持続可能性）の項に記載されています。

サステナビリティ（持続可能性）概要

当社のサステナビリティ優先事項に関する最近の動向および進捗を下記に報告します。

a) 医療アクセス

今期、アストラゼネカの最高経営責任者（CEO）であるパスカル・ソリオは、バイオ医薬品企業 9 社の CEO と共同で ワクチン宣言に署名し、被接種者の安全と健康の継続を初期 COVID-19 ワクチンの開発における最優先事項とすることを誓約しました。

b) 環境保護

アンビション・ゼロカーボン戦略の一環として、当社は、当初の RE100（再生可能エネルギー）の目標よりも 5 年早い 2020 年末までに世界中の全事業拠点において認定された再生可能輸入電力の 100%の供給を実現し、再生可能電力調達目標の達成時期を前倒ししたことを発表しました。同時に、2025 年までの電気自動車（EV100）への切り替えおよびエネルギー生産性の向上も加速させていることを発表しました。

c) 倫理と透明性

今期、当社は「データと人工知能（AI）の倫理に関する見解」を発表し、この新興分野に関するアストラゼネカの原則を確立し、可視化しました。これは、当社の透明性と倫理的行動に対する継続的な注力を示すものです。

より広範なサステナビリティに関する最新情報は本発表文の後段で提供されます。

注：

下記の注釈は 1 ページから 7 ページまでに関するものです。

1. Constant exchange rates (恒常為替レート) : これらは報告ベースの結果から為替変動の影響を除外しているため一般に公正妥当と認められている会計原則 (GAAP) とは異なる指標です。
2. 報告ベースの財務指標は欧州連合により採用され、国際会計基準審議会により発行された国際会計基準に準拠して提示された財務業績です。英国は未だ IFRS 承認プロセス発表しておらず、暫くの間欧州連合の承認プロセスに引き続き従うことが予想されます。
3. 1 株当たり利益
4. not meaningful (非適用)
5. 中核財務指標 : これらは報告ベースの業績とは異なり、グループの Interim Financial Statements (中間財務諸表) にある情報から直接算出できないため GAAP とは異なる指標です。中核財務指標および中核ベースから報告ベースへの財務指標の調整の定義は、英語原文の営業・ファイナンシャルレビューを参照ください。
6. タグリツソ、イミフィンジ、リムパーザ、Calquence、Enhertu、Koselugo、フォシーガ、ブリリント、ロケルマ、roxadustat、ファセンラ、ビベスピおよびビレーズトリ。これらの新薬はオンコロジー、循環器・腎・代謝 (CVRM) および呼吸器・自己免疫の 3 つの治療領域の柱であるとともに今後の成長の重要な基盤です。Enhertu および roxadustat の 9 カ月累計の総売上高はすべて既存の提携収入の全部を反映しています。
7. New CVRM 領域はブリリントおよび腎臓病・糖尿病治療薬により構成されます。
8. コロナウイルス感染症 ; 新規に発見されたコロナウイルスにより引き起こされる感染症
9. 売上総利益は総売上高から売上原価を差し引いた金額と定義されます。報告ベースおよび中核売上総利益は提携収入および全ての関連費用の影響を控除しているため、製品売上の本来の業績を反映しています。
10. 米国ニュージャージー州ケニワースを拠点とする Merck & Co., Inc. は米国とカナダ以外では MSD として知られています。

Table 5 : パイプラインハイライト

下記の表は前回業績発表以降の後期段階パイプラインの重要な展開を示すものです。

<p>薬事承認</p>	<ul style="list-style-type: none"> - イミフィンジ - ES-SCLC¹¹ (EU, 日本) - <i>Enhertu</i> – 胃がん (3次治療, HER2+¹²) (日本) - フォシーガ - T2D¹³ CVOT¹⁴ (中国)
<p>薬事承認申請 および・または 受理</p>	<ul style="list-style-type: none"> - タグリツソ – 術後補助療法 NSCLC¹⁵ (EGFRm¹⁶) (米国, 中国; 優先審査) - イミフィンジ – 新規、4週1回投与 (Q4W) 用法用量 (米国; 優先審査, EU; 迅速評価) - イミフィンジ - ES-SCLC (中国) - <i>Enhertu</i> – 胃がん (3次治療, HER2+) (米国; 優先審査) - ブリリンタ – 脳卒中 (THALES 試験) (中国) - シムビコート – 軽症喘息 (EU) - anifrolumab – 全身性エリテマトーデス (SLE¹⁷) (米国, EU)
<p>主な第Ⅲ相データ readouts または その他の主な展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> - タグリツソ – 術後補助療法 NSCLC (EGFRm): 画期的治療薬指定¹⁸ (米国) - リムパーザ – 卵巣がん (1次治療, HRD+) (PAOLA-1 試験): 肯定的見解 (EU) - リムパーザ – 前立腺がん (2次治療, BRCAm¹⁹): 肯定的見解 (EU) - フォシーガ – HF²⁰ CVOT: 肯定的見解 (EU) - フォシーガ – CKD²¹: Breakthrough Therapy Designation (US) - ファセンラ – 鼻茸²²: 第Ⅲ相主要評価項目達成 - <i>Trixeo</i> – COPD²³: 肯定的見解 (EU)

¹¹ 進展型小細胞肺がん

¹² ヒト上皮成長因子受容体2陽性

¹³ 2型糖尿病

¹⁴ 心血管アウトカム試験

¹⁵ 非小細胞肺がん

¹⁶ 上皮成長因子受容体変異

¹⁷ 全身性エリテマトーデス: 体内の結合組織に炎症を起こす慢性自己免疫疾患

¹⁸ 重篤もしくは生命を脅かす疾患の治療薬の開発および審査の迅速化を意図する

¹⁹ 乳がん感受性遺伝子 1/2 変異

²⁰ 心不全

²¹ 慢性腎臓病

²² 鼻腔内の良性腫瘍

²³ 慢性閉塞性肺疾患

Table 6 : パイプライン—想定されている主なニュース

時期	ニュース配信
2020 年 第 4 四半期	<ul style="list-style-type: none"> - タグリッソ – 術後補助療法 NSCLC (EGFRm): 薬事承認申請 (EU) - イミフィンジ – 新規 Q4W 用法用量: 規制当局判断 (米国) - リムパーザ – 卵巣がん (1 次治療) (PAOLA-1 試験): 規制当局判断 (EU, 日本) - リムパーザ – 乳がん (BRCAm): 規制当局判断 (中国) - リムパーザ – 前立腺がん (2 次治療, BRCAm): 規制当局判断 (EU) - <i>Enhertu</i> – 乳がん (3 次治療, HER2+): 規制当局判断 (EU) - <i>Calquence</i> – CLL²⁴: 規制当局判断 (EU) - フォシーガ - HF CVOT: 規制当局判断 (EU, 日本) - フォシーガ - CKD: 規制当局判断 - ブリリンタ – 脳卒中 (THALES 試験): 規制当局判断 (米国) - <i>roxadustat</i> - CKD に伴う貧血: 規制当局判断 (米国) - - シムビコート – 軽症喘息: 規制当局判断 (中国) - <i>Trixeo</i> - COPD: 規制当局判断 (EU) - <i>tezepelumab</i> – 重症喘息: データ readout - <i>anifrolumab</i> – 全身性エリテマトーデス (SLE): 規制当局判断 (日本) - AZD1222 - SARS-CoV-2: データ readout, 薬事承認申請

²⁴ 慢性リンパ性白血病

<p>2021 年 上半期</p>	<ul style="list-style-type: none"> - タグリッソ – 術後補助療法 NSCLC (EGFRm): 規制当局判断 (米国、中国) - イミフィンジ – 新規 Q4W 用法用量: 規制当局判断 (EU) - イミフィンジ – 切除不能ステージ III NSCLC (PACIFIC-2 試験): データ readout, 薬事承認申請 - イミフィンジ - NSCLC (1 次治療) (PEARL 試験): データ readout - イミフィンジ +/- tremelimumab²⁵ - 頭頸部がん (1 次治療): データ readout, 薬事承認申請 - リムパーザ – 膵がん (1 次治療, BRCAm): 規制当局判断 (日本) - リムパーザ – 前立腺がん (2 次治療): 規制当局判断 (日本) - リムパーザ – 乳がん術後補助療: データ readout - <i>Enhertu</i> – 胃がん (3 次治療, HER2+): 規制当局判断 (米国) - <i>Calquence</i> - CLL: 規制当局判断 (日本) - <i>Calquence</i> - CLL (2 次治療) (ELEVATE R/R 試験): データ readout, 薬事承認申請 - <i>Koselugo</i> - NF1²⁶ 規制当局判断 (EU) - フォシーガ - HF CVOT: 規制当局判断 (中国) - <i>Brilique</i>/ブリリント – CAD²⁷ /T2D CVOT: 規制当局判断 (EU, 日本, 中国) - <i>Brilique</i> – 脳卒中 (THALES 試験): 規制当局判断 (EU) - シムビコート – 軽症喘息: 規制当局判断 (EU) - ファセンラ – 鼻茸: 薬事承認申請 - tezepelumab – 重症喘息: 薬事承認申請 - AZD7442 - SARS-CoV-2: データ readout, 薬事承認申請
-----------------------	--

²⁵ トレメリムマブ

²⁶ 神経線維種症 1 型

²⁷ 冠動脈疾患

<p>2021 年 下半期</p>	<ul style="list-style-type: none"> - イミフィンジ - ES-SCLC: 規制当局判断 (中国) - イミフィンジ - NSCLC (1 次治療) (PEARL 試験): 薬事承認申請 - イミフィンジ - 膀胱がん術後補助療法: データ readout - イミフィンジ - 肝臓がん (局所領域): データ readout, 薬事承認申請 - イミフィンジ - 胆道がん: データ readout - イミフィンジ +/- tremelimumab - NSCLC (1 次治療) (POSEIDON 試験): データ readout (OS²⁸), 薬事承認申請 - イミフィンジ +/- tremelimumab - 肝臓がん (1 次治療): データ readout, 薬事承認申請 - リムパーザ - 卵巣がん (3 次治療, BRCAm): 薬事承認申請 - リムパーザ - 乳がん術後補助療法: 薬事承認申請 - リムパーザ - 前立腺がん(1 次治療、去勢抵抗性): データ readout, 薬事承認申請 - Enhertu - 乳がん (3 次治療, HER2+) (第 III 相): データ readout - Enhertu - 乳がん (2 次治療, HER2+): データ readout, 薬事承認申請 - Enhertu - 乳がん (HER2 low²⁹): データ readout - フォシーガ - HF (HFpEF³⁰): データ readout, 薬事承認申請 - ブリリント - 脳卒中 (THALES 試験): 規制当局判断 (中国) - PT027 - 喘息: データ readout - anifrolumab - 全身性エリテマトーデス (SLE): 規制当局判断 (米国, EU)
-----------------------	--

²⁸ 全生存期間.

²⁹ FISH 法検査結果が陰性の HER2 免疫組織化学 (IHC) 1+ or 2+

³⁰ 左室駆出率が保持された心不全

総売上高

当社製品の業績を下記に示すとともに、地域別製品売上に関しては、英語原文発表文書にある Regional Total Revenue に示します。

Table 7 : 2020 年 9 カ月累計 治療領域別製品売上

製品売上： 治療領域	製品名	2020 年 9 カ月累計			
		100 万 ドル	対製品 売上合計 (%)	増減 (%)	
				実質	CER
オンコロジー	タグリッソ	3,171	17	38	39
	イミフィンジ	1,487	8	42	43
	リムパーザ	1,280	7	51	53
	Calquence	340	2	n/m	n/m
	Koselugo	20	-	n/m	n/m
	ゾラデックス ³¹	672	4	9	13
	フェソロデックス ³¹	450	2	(38)	(37)
	イレッサ ^{エラー!} ブックマークが定義されていま せん。	201	1	(41)	(40)
	アリミデックス ³¹	149	1	(14)	(11)
	カソデックス ³¹	133	1	(16)	(14)
	その他	39	-	(44)	(43)
	オンコロジー合計	7,942	42	24	26
バイオ医薬品： CVRM	フォシーガ	1,373	7	22	26
	ブリリンタ	1,230	7	7	9
	Onglyza	365	2	(8)	(6)
	ビデュリオン	326	2	(21)	(20)
	バイエッタ	50	-	(40)	(38)
	その他糖尿病	35	-	(4)	(4)
	ロケルマ	48	-	n/m	n/m
	クレストール ³¹	882	5	(10)	(8)
	セロクエル Toprol-XL ³¹	620	3	9	14
	Atakand ³¹	180	1	11	18
	その他	145	1	(27)	(26)

製品売上： 治療領域	製品名	2020年9カ月累計			
		100万 ドル	対製品 売上合計 (%)	増減 (%)	
				実質	CER
	バイオ医薬品：CVRM 合計	5,254	28	3	5
バイオ医薬品： 呼吸器 & 免疫	シムビコート	2,042	11	15	16
	ファセンラ	666	4	34	34
	パルミコート	628	3	(40)	(39)
	Daliresp/Daxas	163	1	4	4
	ビベスピ ^o	36	-	19	19
	ビレーズトリ	21	-	n/m	n/m
	その他	273	1	(17)	(16)
	バイオ医薬品： 呼吸器 & 免疫合計	3,829	20	(1)	1
その他	ネキシウム ³¹	1,115	6	(1)	1
	シナジス ³¹	294	2	-	-
	Losec/Prilosec/オメプラール ³¹	144	1	(34)	(32)
	フルミスト ³¹	116	1	n/m	n/m
	セロクエル XR/IR ³¹	98	1	(35)	(34)
	その他	87	-	(35)	(35)
	その他製品合計	1,854	10	(5)	(4)
	製品売上合計	18,879	100	9	11
	提携収入合計	328		(19)	(18)
	総売上高	19,207		8	10

³¹ 従来製品

Table 8: 2020 年第 3 四半期 治療領域別製品売上

製品売上： 治療領域	製品名	2020 年第 3 四半期			
		100 万 ドル	対製売上 合計 (%)	増減 (%)	
				実質	CER
オンコロジー	タグリッソ	1,155	18	30	30
	イミフィンジ	533	8	29	29
	リムパーザ	464	7	42	42
	Calquence	145	2	n/m	n/m
	Koselugo	13	-	n/m	n/m
	ゾラデックス	230	4	2	3
	フェソロデックス	138	2	(33)	(32)
	イレッサ	54	1	(41)	(40)
	アリミデックス	42	1	(34)	(32)
	カソデックス	44	1	(16)	(16)
	その他	13	-	(37)	(34)
	オンコロジー合計	2,831	43	21	22
バイオ医薬品：CVRM	フォシーガ	525	8	32	35
	ブリリンタ	385	6	(7)	(7)
	Onglyza	109	2	(14)	(13)
	ビデュリオン	110	2	(14)	(14)
	バイエッタ	15	-	(46)	(44)
	その他糖尿病	11	-	(19)	(20)
	ロケルマ	21	-	n/m	n/m
	クレストール	300	5	(11)	(10)
	セロクエル Toprol-XL	225	3	27	32
	Atakand	54	1	(2)	4
	その他	39	1	(41)	(41)
	バイオ医薬品：CVRM 合計	1,794	28	3	4
バイオ医薬品：	シムビコート	599	9	(2)	(2)

製品売上： 治療領域	製品名	2020年第3四半期			
		100万 ドル	対製売上 合計 (%)	増減 (%)	
				実質	CER
呼吸器 & 免疫	ファセンラ	240	4	19	18
	パルミコート	151	2	(55)	(55)
	Daliresp/Daxas	57	1	8	9
	ビベスピ	14	-	38	36
	ビレーズトリ	10	-	n/m	n/m
	その他	90	1	(12)	(13)
	バイオ医薬品:呼吸器 & 免疫合計	1,161	18	(12)	(12)
その他	ネキシウム	401	6	7	9
	シナジス	118	2	(19)	(19)
	Losec/Prilosec/オメプラール	45	1	(38)	(38)
	フルミスト	116	2	n/m	n/m
	セロクエル XR/IR	35	1	(57)	(56)
	その他	19	-	(56)	(57)
	その他製品合計	734	11	1	1
	製品売上合計	6,520	100	6	7
	提携収入合計	58		(79)	(78)
	総売上高	6,578		3	3

総売上高サマリー

● オンコロジー領域

9 カ月累計の総売上高は 23%増 (CER ベースでは 24%増) の 81 億 8,500 万ドルを達成。Enhertu の業績の全部が、提携収入に反映されました。

オンコロジー領域の総売上高は、総売上高合計の 43%を占めました (2019 年 9 カ月累計では 38%)。

タグリツソ

タグリツソは米国、中国、EU 諸国および日本を含む 87 カ国で上皮成長因子受容体変異陽性非小細胞肺癌 (EGFRm NSCLC) の 1 次治療として薬事承認を取得しました。現在までに、同疾患を適応症として 32 カ国で保険償還が認められていますが、さらなる保険償還に関する承認が予想されています。これは、米国、中国、EU 諸国および日本を含む 89 カ国における EGFR T790M³² 変異陽性 NSCLC の治療薬としてのタグリツソの承認に続くものでしたが、この適応症は 64 カ国で保険償還の対象とされています。

9 カ月累計で、全てが製品売上による総売上高は 38%増 (CER ベースでは 39%増) の、31 億 7,100 万ドルに達しました。米国の売上は 26%伸長し、11 億 4,400 万ドルでした。

新興市場において、タグリツソの総売上高は 9 カ月累計で 72%増 (CER ベースでは 78%増) の 9 億 5,000 万ドルに達し、中国では、2019 年の国家医療保険償還医薬品リスト (NRDL) への 2 次治療の収載後、顕著な成長を実現しました。タグリツソの日本の総売上高は 12%増 (CER ベースでは 11%増) の 5 億 2,300 万ドルでした。ヨーロッパの総売上高は 9 カ月累計で 49%増 (CER ベースでは 50%増) の 5 億 300 万ドルに達しました。この業績は、より多くの国々が保険償還を認めたことによる 1 次治療での使用の増加によりけん引されました。

イミフィンジ

イミフィンジは米国、中国、EU 諸国および日本を含む 65 カ国でプラチナ製剤ベースの化学・放射線療法 (CRT) による治療後、病勢進行がみられない切除不能、ステージ III 非小細胞肺癌患者さんの治療薬として薬事承認を取得しています。保険償還契約の件数は 9 カ月累計で 28 件に増加しました。また、イミフィンジは 47 カ国で進展型小細胞肺癌 (ES-SCLC) 患者さんの治療薬として承認され、5 件の保険償還を取得しました。

³² エクソン 20 のメチオニン (M) による位置 790 におけるトレオニン (T) の置換

全てが製品売上からなるイミフィンジの9カ月累計の総売上高は、42%増(CER ベースでは 43%)の14億8,700万ドルに達し、その大部分は切除不能ステージⅢ非小細胞肺がんの治療に使用されています。米国での売上は17%増の8億8,500万ドルでした。日本での売上は28%増(CER ベースでは27%増)の1億9,200万ドル。ヨーロッパの売上は122%増の2億5,400万ドル(CER ベースでは125%増)でしたが、これは保険償還を認めた国の増加を反映しています。一方、中国での案件も含め、最近の複数の薬事承認および上市を受け、新興市場の売上は514%増(CER ベースでは543%増)の1億1,300万ドルでした。

リムパーザ

リムパーザは卵巣がんの治療薬として77カ国、転移性乳がんの治療薬として71カ国で承認されており、膀胱がん治療薬としては、51カ国において承認されています。さらには、特定の前立腺がんの2次治療としても13カ国において薬事承認を取得しています。

9カ月累計で、製品売上は、51%増(CER ベースでは53%増)の12億8,000万ドルに達しました。この堅調な業績は、地理的に広範にわたり、全世界で上市が継続中です。米国の製品売上は、前立腺がんおよびHRD陽性の卵巣がんの1次治療における上市の効果が出始め、46%増の6億3,100万ドルでした。総処方量ベースで、リムパーザは、米国のポリ(ADP-リボース)ポリメラーゼ(PARP)阻害剤クラスのトップ製品としての地位を維持しました。保険償還の広がりやBRCA検査率が伸びていること、および、英国とドイツをはじめとする卵巣がんの1次治療を適応とした最近の上市にけん引され、ヨーロッパの売上は50%増(CER ベースでは51%増)の3億1,100万ドルでした。

日本の製品売上は31%増(CER ベースでは30%増)の1億1,900万ドルでした。新興市場の製品売上は、94%増の1億9,500万ドル(CER ベースでは105%増)で、これは2019年の中国の国家薬品监督管理局(NMPA)による卵巣がんの2次治療の維持療法としてのリムパーザの薬事承認によるものです。リムパーザは同適応で中国の国家医療保険償還医薬品リスト(NRDL)に2020年1月付で掲載されました。

リムパーザの総売上高は9カ月累計で28%増(CER ベースでは29%増)の14億1,500万ドルでした。これには、1億3,500万ドルの提携収入が含まれます。提携収入の受領額は四半期ごとにばらつきがあり、多額のリムパーザの提携収入の受領が2020年の最終四半期に予想されています。

Enhertu

第一三共株式会社(第一三共)により計上された米国の売上は9カ月累計で1億3,600万ドルでした。Enhertuは、2019年末に米国食品医薬品局(FDA)により、HER2変異陽性乳がんの3次

治療として承認されました。全てがアストラゼネカにより計上された提携収入からなる 9 カ月累計の総売上高は 6,300 万ドル、本四半期の総売上高は 2,700 万ドルでした。

Calquence

全て製品売上からなる総売上高は、9 カ月累計で 214%増の 3 億 4,000 万ドルに達し、その売上の大部分は米国で達成されました。Calquence は、慢性リンパ性白血病 (CLL) および小リンパ球性リンパ腫 (SLL) の治療薬として米国食品医薬品局 (FDA) により 2019 年 11 月に承認され、さらに 16 カ国において同疾患を適応症として承認を取得しています。Calquence はマントル細胞リンパ腫の治療薬としても 20 カ国において薬事承認を取得しています。

Koselugo

症候性の手術不能な叢状神経線維腫を有する 2 歳以上の小児の神経線維腫症 1 型 (NF1) の治療薬として 2020 年第 2 四半期の米国での発売後、全て米国での製品売上からなる 9 カ月累計の総売上高は 2,000 万ドルに達しました。

従来製品：ゾラデックス

大部分が製品売上からなる総売上高は 99 カ月累計で 14%増 (CER ベースでは 18%増) の 7 億 1,700 万ドルに達しました。

ゾラデックスの新興市場での製品売上は、前立腺がんでの使用やアクセスが増加したことを反映し、12%増 (CER ベースで 18%増) の 4 億 2,700 万ドルでした。ヨーロッパの製品売上は 5%増 (CER ベースでは 6%増) の 1 億 400 万ドル。その他既成市場 (RoW) 地域では、製品売上は 2%増の 1 億 3,500 万ドルとなりました。

従来製品：フェソロデックス

全て製品売上からなる総売上高は 9 カ月累計で 38%減 (CER ベースでは 37%減) の 4 億 5,000 万ドル。

新興市場の売上は 3%減 (CER ベースでは 3%増) の 1 億 4,200 万ドルに達しました。しかし、米国の売上は、2019 年の複数のフェソロデックス後発品の発売を反映し、85%減の 4,500 万ドルでした。後発競合品が確立されているヨーロッパでは、売上は 2%増 (CER ベースでは 3%増) の 1 億 7,100 万ドルに達したものの、日本の売上は、2020 年第 2 四半期の公的価格の切り下げにより、11%減 (CER ベースで 12%減) の 8,600 万ドルでした。

従来製品：イレッサ

全て製品売上からなる総売上高は 9 カ月累計で 41%減 (CER ベースでは 40%減) の 2 億 100 万

ドルでした。新興市場の売上は 28%減 (CER ベースで 26%減) の 1 億 6,300 万ドルでしたが、これはイレッサが中国の数量ベース調達 (VBP) プログラムに含まれていることによる価格下落の影響を反映しています。

● バイオファーマ : CVRM 領域

総売上高は 9 カ月累計で 3%増の 52 億 7,800 万ドル (CER ベースでは 5%増) に達し、総売上高合計の 27%を占めました (2019 年 9 カ月累計では 29%)。この業績には roxadustat の既存提携収入 1,900 万ドルと、クレストールおよび他の複数の従来製品の売上が含まれます。

クレストールとその他の複数の従来製品の売上を除いた New CVRM の 9 カ月累計の総売上高は、主にフォシーガ、次にブリリンタの業績を反映し、9 カ月累計で 7%増 (CER ベースでは 10%増) の 34 億 5,000 万ドルに達しました。New CVRM の総売上高は 9 カ月累計 CVRM 全体の総売上の 65%を占めました (2019 年 9 カ月累計では 62%)。

フォシーガ

大部分が製品売上からなる総売上高は 9 カ月累計で 22%増 (CER ベースでは 26%増) の 13 億 7,700 万ドルに達しました。第 3 四半期の総売上高は、すべての地域における成長を反映し、32%増 (CER ベースでは 35%増) の 5 億 2,700 万ドル。

新興市場の製品売上は、9 カ月累計で 44%増 (CER ベースで 54%増) の 4 億 8,800 万ドルでした。中国ではフォシーガが 2020 年初頭より国家医療保険償還医薬品リスト (NRDL) に収載されました。予想通り、これにより本製品の価格がマイナス影響を受けました。しかし、NRDL 収載による数量面でのプラス効果がこのマイナス影響を上回りました。また、この業績はジペプチジルペプチダーゼ 4 (DPP-4) 阻害剤クラスに取って代わったナトリウム・グルコース共輸送体 2 (SGLT2) 阻害剤クラスの継続的な成長も反映しています。

米国の製品売上は 9 カ月累計で 3%減の 3 億 8,500 万ドルでした。この売上減は、有望な数量ベースの成長を競合激化による価格への影響や売り上げ構成のマイナス影響が上回ったことを反映しています。しかし、DECLARE 心血管アウトカム試験 (CVOT) 結果を反映した 2019 年第 3 四半期の添付文書改訂や最近の左室駆出率が低下した心不全 (HFrEF) への適応拡大の結果として、新規処方シェアにおける好ましい動きもありました。米国の製品売上は第 3 四半期に 18%伸長し 1 億 4,800 万ドルでした。

ヨーロッパの製品売上は 9 カ月累計で、同様に DECLARE 試験承認内容の改訂後の New-to-Brand 処方の加速を反映し、33%増 (CER ベースでは 34%増) の 3 億 6,300 万ドルに達しました。第 3 四半期のヨーロッパの製品売上は 48%増 (CER ベースでは 44%増) の 1 億 4,100 万ドルでした。

ブリリント

9 カ月累計で、全てが製品売上による総売上高は 12 億 3,000 万ドルに達し、7%増（CER ベースでは 9%増）の成長を示しました。急性冠症候群および心筋梗塞（MI）発症後のハイリスク患者さんの治療における患者数の増加が継続しました。しかし、2020 年第 3 四半期の売上は、継続する COVID-19 の影響および中国における 2020 年 8 月の VBP（数量ベース調達）発表後の卸の在庫補償が原因で 7%減少し、3 億 8,500 万ドルでした。

新興市場の 9 カ月累計の売上は 13%増（CER ベースでは 18%増）の 3 億 9,200 万ドルでした。しかし、2020 年 8 月の中国における前述の VBP 改訂の発表後、アストラゼネカは価格競争を選択しませんでした。VBP 規則により依然として 30%の公的価格切り下げに直面しており、第 3 四半期の売上は、22%減（CER ベースでは 20%減）の 1 億 200 万ドルでした。米国の売上は、一部、90 日処方の影響増大の結果である加重平均治療期間の長期化にけん引され、7%増の 5 億 3,700 万ドルでした。ヨーロッパの売上は COVID-19 によるマイナス影響を受け、選択的治療が減少したことから、9 カ月累計で 2%減（CER ベースでは 1%減）の 2 億 5,700 万ドルでした。

Onglyza

全てが製品売上からなる総売上高は 9 カ月累計で 8%減（CER ベースでは 6%減）の 3 億 6,500 万ドルでした。2020 年第 3 四半期の総売上高は、市場シェアの減少を受け、14%減（CER ベースでは 13%減）の 1 億 900 万ドルでした。

新興市場の売上は、中国の業績にけん引され、18%増（CER ベースで 23%増）の 1 億 5,400 万ドル。Onglyza の米国の売上は、9 カ月累計で 23%減の 1 億 3,400 万ドルでした。ヨーロッパの売上も、DPP-4 阻害剤クラスからの転換という広範な傾向が強調され、19%減の 4,300 万ドルでした。フォシーガの大きな将来性を考慮し、当社は Onglyza よりも フォシーガへの営業的支援を引き続き優先します。

ビデュリオン

全てが製品売上からなる総売上高は 9 カ月累計 21%減（CER ベースでは 20%減）の 3 億 2,600 万ドルでした。

米国の売上は、競合圧力とマネジドケア市場の影響の結果、9 カ月累計で 18%減（CER ベースでは 23%減）の 2 億 7,800 万ドルでした。ヨーロッパのビデュリオンの売上は 24%減の 3,800 万ドル。

ロケルマ

全てが製品売上からなる総売上高は、大部分が米国で達成され、9 カ月累計で 4,800 万ドルに達

しました（2019年9カ月累計では600万ドル）。ロケルマは今期米国における新規処方市場のシェアを継続的に主導しました。

ロケルマはEU諸国、中国および日本を含む複数の市場において、高カリウム血症治療薬として薬事承認を取得しており、間もなく他の複数の市場においても上市されることが予定されています。

Roxadustat

全てが既存提携収入からなる9カ月累計の総売上高は中国で1,900万ドルに達しました。2020年第3四半期の売上は、主に前期との会計上の調整による14%の連続する四半期の減少を反映し、800万ドルでした。当社は、中国における病院リスティングの実現に引き続き注力し、9万人以上の患者さんが本剤による慢性腎臓病（CKD）に伴う貧血の治療を受けました。

2020年7月、FibroGen社（FibroGen）とアストラゼネカは、中国におけるroxadustatに関する既存のライセンス契約を変更する修正契約を締結しました。2021年以降、アストラゼネカは中国における今後の収益の大部分を製品売上として計上する可能性が高いと思われます。

従来製品: クレストール

大部分が製品売上からなる総売上高は9カ月累計で11%減（CERベースでは9%減）の8億8,400万ドルでした。

新興市場の製品売上は10%減（CERベースでは7%減）の5億6,000万ドル。この業績は前述の中国の数量ベースの調達（VBP）によるマイナスの影響を受けました。米国の製品売上は、19%減の7,100万ドル。ヨーロッパの製品売上は16%減（CERベースでは15%減）の9,400万ドルでした。

● バイオフーマ：呼吸器・免疫領域

9 カ月累計の総売上高は 1%減（CER ベースでは 1%増）の 38 億 4,100 万ドルで、総売上高合計の 20%を占めました（2019 年 9 カ月累計では 22%）。これには *Duaklir*、*Eklira* および他の医薬品の既存提携収入、1200 万ドルが含まれます。2020 年第 3 四半期の総売上高は、主に前述の *パルミコート* の業績の結果、12%減少し 11 億 6,500 万ドルとなりました。

シムビコート

全てが製品売上からなる 9 カ月累計の総売上高は、米国の堅調な業績の結果、15%増（CER ベースでは 16%増）の 20 億 4,200 万ドル。2020 年第 3 四半期の総売上高は、主に米国での在庫積み増し（備蓄）効果と日本での後発品との競合により、2%減少し 5 億 9,900 万ドルでした。シムビコートは吸入ステロイド（ICS）/長時間作用型 β 刺激薬（LABA）クラスにおける世界市場の数量ベースおよび金額ベースでのトップ製品としての地位を継続しました。

米国の売上は 29%増の 7 億 5,500 万ドル。シムビコートのオーソライズド・ジェネリックが当社の提携先である Prasco 社により米国で 2020 年 1 月に発売されました。第 3 四半期の売上は、好ましくないチャネルミックスの結果、および年初からの在庫増を解消した結果、3%減少し 1 億 9,700 万ドルでした。新興市場の売上は、中国およびロシアの好調な業績を反映し、9 カ月累計で 6%増（CER ベースでは 11%増）の 4 億 2,300 万ドルでした。

ヨーロッパの 9 カ月累計売上は、フランス、スペインおよびイタリアで見られた良好な成長により、3%増（CER ベースでは 4%増）の 5 億 2,100 万ドル。日本の 9 カ月累計売上は 10%増（CER ベースでは 9%増）の 1 億 4,400 万ドルでしたが、2020 年第 3 四半期の売上は 35%減（CER ベースでは 36%減）の 4,100 万ドルでした。これは、後発品の競合およびアステラス製薬との共同プロモーション契約を終了した 2019 年第 3 四半期の価格および数量との比較によるものです。

パルミコート

全てが製品売上からなる総売上高は 9 カ月累計で 40%減（CER ベースでは 39%減）の 6 億 2,800 万ドル。第 3 四半期の総売上高は、特に中国で見られた、病院での呼吸器疾患患者さんの治療に重大な影響を与えた COVID-19 の影響が継続したことにより、55%減の 1 億 5,100 万ドルでした。

パルミコート の売上が 9 カ月累計で 43%減（CER ベースでは 42%減）の 4 億 7,900 万ドルであったであった新興市場は、*パルミコート* の全世界の総売上高の 76%を占めました。中国の業績は COVID-19 の影響を受け、外来患者用の噴霧療法室（ネブライザールーム）への小児来訪者数が減少しました。経口ステロイド剤が不適切な場合 *パルミコート* が手術で使用可能な成人の待機手

術例数は本四半期に一部回復しました。米国の売上は 40%減の 5,300 万ドル、ヨーロッパの売上も 8%減（CER ベースでは 6%減）の 5,500 万ドルでした。

ファセンラ

ファセンラは、米国、EU 諸国および日本を含む 59 カ国で、コントロール不良の重症好酸球性喘息の治療薬として薬事承認を取得しています。さらなる薬事承認審査が進行中であり、ファセンラに関して 45 カ国において保険償還が既に認められています。

全てが製品売上からなる総売上高は 9 カ月累計で 34%増の 6 億 6,600 万ドルでした。第 3 四半期の総売上高は、良好な市場シェアの進展および数カ国における新規患者さんの治療開始への COVID-19 の影響を自己投与採用の増加が上回った結果、19%増（CER ベースでは 18%増）の 2 億 4,000 万ドルでした。ファセンラは、過半数の市場におけるコントロール不良の重症喘息治療薬の New-to-Brand 処方数において新規生物製剤のトップブランドとしての地位を継続しました。

米国の売上は、9 カ月累計で 23%増の 4 億 2,300 万ドル。2020 年第 3 四半期の売上は、市場シェアの成長持続により 11%増の 1 億 5,100 万ドル。ヨーロッパの 9 カ月累計売上は、進行中の上市の成功を反映し、72%増（CER ベースでは 74%増）の 1 億 4,000 万ドル。日本の売上は、既承認の適応および新規患者数において、16%増（CER ベースでは 15%増）の 7,200 万ドル。新興市場の売上は 9 カ月累計で 1,000 万ドルに達しました（2019 年 9 カ月累計では 400 万ドル）。

Daliresp/Daxas

全てが製品売上からなる総売上高は 9 カ月累計で 4%増の 1 億 6,300 万ドル。全世界の売上の 87% を占める米国の売上は 6%増の 1 億 4,100 万ドルでした。

ビベスピ

全てが製品売上からなる総売上高は 9 カ月累計で 19%増の 3,600 万ドル。ビベスピは米国、多くの欧州諸国および日本で発売されました。米国の売上は 9 カ月累計で 11%増の 3,300 万ドル。

ビレーズトリ

全てが製品売上からなる総売上高は 9 カ月累計で 2,100 万ドル（2019 年 9 カ月累計では 100 万ドル）。ビレーズトリは、COPD 治療薬として、中国および日本での上りに成功しました。日本の処方は、新医薬品については発売後 1 年間は 1 回の処方日数を 14 日間分に限定する療養当規則（療担規）により制限されています。ビレーズトリは 2020 年 10 月 1 日に発売後 1 年が経過したため、療担規に基づく処方日数制限が解除され、本規則はもはや適用されません。最近、ビレーズトリは、米国で承認・発売され、EU では *Trixeo* という製品名で CHMP の承認の了承を得ました。

Broncho-Vaxom

2020年9月、アストラゼネカはOM Pharma SA社と戦略的提携に関する契約を締結し、本契約を通じ、アストラゼネカは本免疫製剤 *Broncho-Vaxom* (バクテリアライセート/OM-85)を中国(香港、マカオ、台湾を除く)において輸入、流通および販売促進する独占的権利を付与されました。中国において、再発気道感染症は、特に小児によく見られる疾患であり、その発症率は約20%です。

その他製品 (主要3治療領域以外)

大部分が製品売上からなる総売上高は9カ月累計で7%減(CERベースでは6%減)の19億300万ドル。この業績は一部2020年4月の *Movantik* のヨーロッパ、カナダおよびイスラエルを除く世界的権利のRedHill Biopharma社への**売却**を反映しています。その他製品の総売上高は総売上高合計の10%を占めました(2019年9カ月累計:11%)。

ネキシウム

大部分が製品売上からなる総売上高は9カ月累計で1%減(CERベースでは1%増)の11億4,000万ドル。新興市場のネキシウムの製品売上は2%減(CERベースでは2%増)の5億6,300万ドル。

オメプラール (Losec/Prilosec)

全てが製品売上からなる総売上高は、一部2019年10月に実施された中国、日本、米国およびメキシコを除く全世界の商業権のCheplapharm Arzneimittel GmbH(Cheplapharm)への**売却**を反映し、9カ月累計で34%減(CERベースでは32%減)の1億4,400万ドル。新興市場の売上は9カ月累計で18%減(CERベースでは16%減)の1億1,900万ドル、2020年第3四半期は、前述の中国でのVBPプログラムの影響の一環である公的価格の切り下げに本剤が対象となったため、23%減(CERベースでは24%減)の3,800万ドルでした。ヨーロッパの9カ月累計売上は63%減の1,700万ドルでした。

フルミスト

全てが製品売上からなる総売上高は、インフルエンザワクチンの例年より早期の提供および例年より多い使用を反映し、9カ月累計で1億1,600万ドルに増加しました(2019年9カ月累計では2,000万ドル)。ヨーロッパの売上は4,900万ドルに達しました(2019年9カ月累計ではゼロ)。

シナジス

9 カ月累計で、全てが製品売上からなる総売上高 2 億 9,400 万ドルは増減なし。米国以外の市場に関する現行の供給契約により全てがアッヴィ社（アッヴィ）への売上からなるヨーロッパの売上は 9 カ月累計で 5%減の 2 億 4,700 万ドルとなり、2020 年第 3 四半期の売上は 33%減の 9,700 万ドルでした。米国の売上は、9 カ月累計で、29%増の 4,700 万ドルでしたが、これは過去の期間に関する良好なグロスからネットへの調整を反映しています。

アッヴィが 1997 年以降保持する米国以外のシナジスの販売・流通に関する商業権は、現行契約が終了する 2021 年 6 月 30 日にアストラゼネカに返還されます。全般的に、2021 年 7 月 1 日より米国以外の地域では当社が単独で本製品の販売および販売促進を行うこととなります。スウェーデンの Orphan Biovitrum AB (publ) との米国におけるシナジスの権利に関する契約についてこの決定による影響はありません。

地域別総売上高

Table 9 : 地域別総売上高

	2020年9カ月累計				2020年第3四半期		
	100万 ドル	合計 (%)	増減 (%)		100万 ドル	増減 (%)	
			実質	CER		実質	CER
新興市場	6,466	34	6	11	2,137	-	4
- 中国	4,013	21	9	11	1,354	6	6
- 中国以外	2,453	13	3	10	783	(7)	2
米国	6,445	34	12	12	2,268	11	11
ヨーロッパ	3,709	19	6	7	1,262	(9)	(11)
既成市場 (RoW)	2,587	13	7	7	911	7	7
- 日本	1,902	10	2	1	670	1	1
- カナダ	459	2	33	36	161	34	37
- その他 RoW	226	1	7	12	80	17	14
合計	19,207	100	8	10	6,578	3	3

ヨーロッパの総売上高は2020年第3四半期10%増加（CERベースでは8%増）し、9カ月累計では12%増加（CERベースでは13%増）した製品売上を含みます。製品売上の地理的分布は英語原文発表文書のNote 7に示されています。さらなる詳細については、2020年9カ月累計および2019年9カ月累計で計上された提携収入に関するTable 45（英語原文発表文書）を参照ください。

業績発表日程

当社は2021年2月11日（木）に通年および第4四半期財務業績を発表する予定です。

アストラゼネカについて

アストラゼネカは、サイエンス志向のグローバルなバイオ・医薬品企業であり、主にオンコロジー、循環器・腎・代謝疾患、および呼吸器・自己免疫疾患の3つの重点領域において、医療用医薬品の創薬、開発、製造およびマーケティング・営業活動に従事しています。英国ケンブリッジを本拠地として、当社は100カ国以上で事業を展開しており、その革新的な医薬品は世界中で多くの患者さんに使用されています。詳細については <https://www.astrazeneca.com> または、ツイッター [@AstraZeneca](https://twitter.com/AstraZeneca)（英語のみ）をフォローしてご覧ください。